

第16回 議員定数等調査特別委員会 会議録（要旨）

日 時 令和7年9月22日（月曜日） 午後2時25分～午後2時45分
場 所 白杵庁舎2階 議員応接室

出席委員の氏名

委員 長 梅田 徳男 委 員 平川 幸司
委 員 安東 鉄男 委 員 河野 巧 委 員 川辺 隆
委 員 戸匹 映二 委 員 匹田 郁 委 員 吉岡 勲

欠席委員の氏名

（ な し ）

オブザーバー

議 長 内藤 康弘 副議長 伊藤 淳

説明のため出席した者の職氏名

（ な し ）

出席した事務局職員の職氏名

局長 林 昌英 書記 小嶋 佳希 主幹 原 伸行 副主幹 工藤 真里子

傍聴者

（ な し ）

会議に付した事件

1. 調査結果報告書の内容確認について
 2. その他
-

午後2時25分 開議

協議事項

1. 調査結果報告書の内容確認について

○ 委員長（梅田徳男）

本日は、前回説明した議長に提出する調査結果報告書の内容について、修正点等意見を伺

いたい。

○ 委員（意見）

・資料3ページの調査の背景で、「議員が活動しやすく」は「議会の活性化や議員の資質向上」の表現の方が良い。10ページの議員定数調査結果の理由のところ、「議員定数を削減することは、市民の多様な声を受け止める機会を減じ、合議制の機能を弱める懸念があることから、まずは議会活動の公開性を高め、市民との意見交換の機会を拡充するなど」の後に、「様々な点から議会活性化を図り、」を追加することで、幅広く取り組む姿勢を表現した方が良い。

・5ページ以降、「確認できました」という表現が多く使われているが、「結論に至りました」とか「わかりました」という表現の方がわかりやすい。

・9ページの5. 全員協議会における意見交換についてのところで、「議会が見えない、わからない」という意見に対して、今後どう議会を改革していくのかを議論し、こうしていきますという方向性が、今回の結論の理由の中に必要であり、それがないと市民が納得しない」の文中、「こうしていきますという方向性」を「アンケート結果を踏まえた方向性」に変えた方がわかりやすい。

・大筋は問題ない。

○ 委員長（梅田徳男）

（ 指摘のあった修正部分について確認 ）

○ 委員長（梅田徳男）

それでは、本日指摘のあった点等を修正し、調査結果報告書を議長に提出してよいか。

（ 「異議なしの声」 ）

○ 委員長（梅田徳男）

それでは、調査結果報告書を議長に提出し、本会議最終日の委員長報告は、この調査結果報告書を基に報告する。

以上、本日をもって本委員会のすべての調査事項を終了する。

午後2時45分 閉会

白杵市議会委員会条例第30条第1項の規定を準用し、ここに記録を作成する。

令和7年9月22日

議員定数等調査特別委員会

委員長 梅田 徳男